

夏のあそびは面白い！  
わくわくがいっぱい

夏のあそびは不思議がいっぱい！！お水の心地よさを感じながら、夏のあそびを楽しんできました。水の変化するおもしろさに気づいたり、じっくり試したり…探求心を育む夏のあそびはまだ続きます。

2歳児きりん組



机の下にしずくがぼたぼたぼた…おもしろい！

ゆっくり落ちるしずくをキャッチ！

2歳児きりん組



せんせい！いっしょ。  
気持ちいいね。

水の心地よさを全身で感じています。

1歳児こじか組



どんだんがれていくね  
ふしぎだな…

水が流れる様子をじっくり見えています。

1歳児こじか組



そーっと入れてみよう  
できたできた！

入れたり、出したり…楽しいね！！

いざという時に備えて住宅用火災  
警報器、消火器などを備えましょう

9月1日 防災の日  
9日 救急の日



広島市南消防署

「いつも子どもを真ん中に ～子どもも大人も育ち合おう～」

朝夕とも少しずつ涼しくなってきました。2歳児きりん組さんと保育士が、種から育てたあさがおも、夏の間色とりどりの花を咲かせてくれましたが、今では小さくしぼんで、かわいい種がたくさんできています。植物や生き物に触れながら、子どもたちは驚きや感動、新たな発見、不思議さに気が付きながら、毎日楽しく過ごしています。

広島市では新型コロナウイルス感染者数も連日多数報じられ、まだまだ安心できる状況ではありません。みみょう保育園では保護者の感染や濃厚接触者の報告はありますが、幸いなことに、園児の感染（家族内感染は除く）は出ていません。しかし、みみょうグループの各園では、園児が感染したことで広島市と協議の上、部分休園になったところもあります。保護者の方には引き続き、感染対策や日々の健康管理などにご配慮いただきますようお願いいたします。

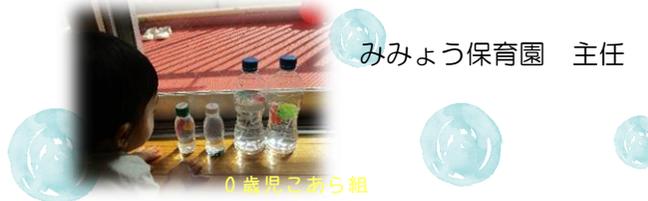
先日、0歳児クラスのKくんは、大好きな保育士に見守られながら、お水の入った小さなたらいで水あそびを楽しんでしました。お水の感触を手や足で楽しんだり、手のひらではしゃばしゃと水面をたたいて水しぶきや音を喜んだり、さまざまなことを試していました。数日経ち、Kくんの様子を見ると少しずつあそびも変化し始めていました。透明な容器を用意すると、お水をすくったりたらいの中に戻したり、のぞき込んだりするなどしていましたが、保育士が小さなペットボトルを用意してあげると、最初のうちはお水がうまく入りませんが、何度か繰り返すうちに、ペットボトルを横向きにしてみました。するとお水が、ぶくぶく泡を立てて入っていききました。Kくんはそのことに気が付き、ぶくぶく泡が収まりお水がいっぱいになると、そっとペットボトルを持ちあげて嬉しそうにしていました。うまくいかないことも繰り返し試す姿や、考えたり、発見したり、変化を楽しんでいる様子を、担任が園でのエピソードとしておたより帳へ記入しました。すると、

翌日0歳児の保育士が、「Kくんのおたより帳に嬉しいエピソードを書いてくださっているんです」とにこにこしながら教えてくれました。おたより帳には、ご家庭でもお風呂の中で大きさの違うペットボトルを用意して、親子で一緒に試しながら遊んだこと。赤ちゃんも考えたり、探求したり、納得するまであそび続ける姿など、まるで「小さな研究者のように繰り返し楽しんでいました」とありました。子どもを真ん中に、保護者の方とお子さんが育ちを喜び合う素敵な情景でした。

乳児期のあそびや生活を通しての経験は、幼児期以降、友だちと協力して、試したり工夫したりする学びに向かう姿につながっていくとともに、これからの教育に求められる思考力の芽生えや非認知能力（やりたいことを見つけ最後まで粘りよく前向きにやり遂げようとする生きる力など）を高める基礎となっていきます。赤ちゃんの頃から、楽しいだけではなく、もっとやってみよう！なんだろう？という、さらに遊びたくなる仕掛けを用意して、子どもたちが考えたり試したりできる、探求心をくすぐるような、豊かなあそびを用意して、夢中になってあそび込める環境の中で、“何かができるより、何かがしたくなる”子どもへと育ててほしいと願っています。そして、私たち大人も子どもにとって心のよりどころとなる安心できる存在でありたいと思います。

コロナ禍でいろんなことが変わりゆく世の中ですが、私たち大人もこの変化を楽しみながら、子どもと共に育ち合いたいと思います。9月初旬には保育参観など保護者の方も参加する行事も予定しています。子どもたちと一緒に楽しめるあそびを体感していただくと嬉しいです。

みみょう保育園 主任



0歳児あら組

みみょう保育園

子育て応援メッセージ

敏感です  
子どもの喜びに  
いいお母さんは



子どもがうれしいとお母さんもうれしい、そしてお母さんがうれしいと子どももうれしいのです。頭のとっぺんからつま先まで、子どもは全身で表現していますから、お母さんにはわかります。子どもが何か話しかけてきたら、ちゃんと受け止めてください。子どもに負けないくらい、どんなに愛しているかを態度で示してほしいのです。

新潮社 「子どもはみんな問題児」より  
著者 中川李枝子  
主な著作 「ぐりとぐら」「いやいやえん」など

秋分の日



今月の23日は秋分の日です。この日は昼と夜の長さが同じになり、この日を境に昼間がだんだん短くなります。仏教では、この日ははさんで一週間を“彼岸”といい、お墓参りなどをして先祖を偲ぶ習慣があります。毎日無事に過ごせたことに感謝をし、謙虚な心でありたいものです。